

子宮頸がん予防ワクチンによる副反応の情報収集と自治体への 情報提供及びその治療法の早急な開発を求める意見書

子宮頸がん予防ワクチンについては、定期の予防接種に位置付けられた後、重篤な副反応の問題が報道されるようになった。本来がん予防のためとされるワクチン接種が、健康な女性を苦しめる結果となっている事例の出現は重大であり、副反応に苦しむ患者や家族への救済を急がなければならない。

また、対応がおくれることは患者の救済はもちろんのこと、予防接種制度への信頼をも揺るがすことになる。

よって、国におかれては、下記事項について早期に実現するよう強く要望する。

記

- 1 国内における子宮頸がん予防ワクチンによる副反応患者の情報収集に努め、最新情報を自治体に提供すること。
 - 2 副反応に対する治療法の早急な開発に努めること。
 - 3 患者の救済に必要な処置をとること。
- 以上 地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

賛成者 無所属クラブ（田中まさよし・松原徳和・服部勝弘・高橋和江）
共産党市議団（堀田信夫・井深正美・原菜穂子）

反対者 「自民岐阜」・「市議会公明党」・「岐阜市民クラブ」
和田直也・浅野裕司・丸山慎一

※ 竹市勲は議長のため裁決に加わらない。

（敬称略）

反対する理由がわかりません！！